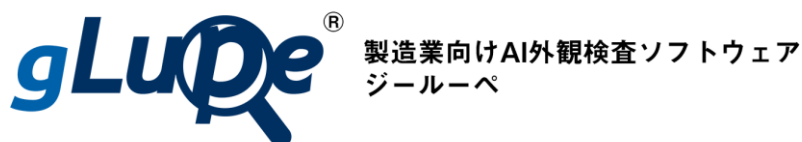


製造業向け AI 外観検査ソフトウェア「gLupe®」

1枚の不良品画像から製品検査 AI を構築可能
「大きな部品」「立体部品」等の検査に強い新機能を搭載

株式会社システム計画研究所(所在地：東京都渋谷区、代表取締役：門脇 均)は、製造業向け AI 外観検査ソフトウェア「gLupe®(ジールーベ)」に、これまで AI や画像処理技術でも対応が困難だった「大きな部品」や「立体部品」等の検査に有効な新機能を追加します。

2021年3月24日に学習と評価を行うためのツールを追加し、その後6月に検査アプリ開発のための SDK を公開します。「gLupe® Version.2」をお持ちのユーザー様においては、無償でアップデートすることができます。

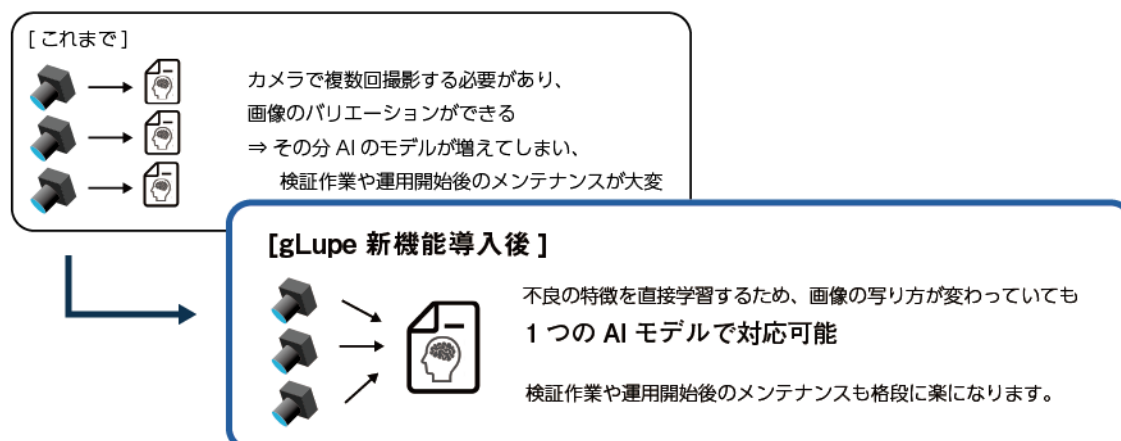


◆ 機能追加の背景

従来の AI や画像処理における製品検査においては、比較的サイズの小さい対象物を平面で検査することが一般的でした。サイズの大きい対象物や立体部品については、カメラによる撮影を様々な角度から複数回行う必要があるため、検査用モデルの構築や運用開始後のフローが複雑になることが課題となっています。

今回の「gLupe®」機能追加では、これまで対応が困難であった「大きな部品」「立体部品」等の自動検査実現を目的としています。

サイズの大きな部品・立体部品の場合 ...



◆ 追加機能について

検出したい傷や異物の特徴を、簡単操作で学習させる機能を追加します。

学習は不良品画像 1 枚から行うことができます。検出対象である不良の特徴を直接学習するため、不良箇所以外の製品本体や背景などの変化に強いことが特長です。これまで AI や画像処理においても検査自動化が困難であった下記シチュエーションで、大きな効果が期待できます。

- サイズが大きいため複数回に分けて撮影しなければならない製品の検査
- 立体的で複雑な形状をしており、様々な角度から撮影しなければならない製品の検査
- 形が一定では無い製品に対して、特定の不良を検出する必要がある検査
- 撮影条件が変化しやすい環境における検査



◆ 簡単操作・1 枚から学習可能

学習作業は簡単で、機械学習・ディープラーニングの知識が無くても行うことが可能です。使い慣れた Windows の画面で直感的に操作することができます。詳細は以下の「不良箇所学習の使い方」動画をご参照ください。

- [AI 外観検査]大きな部品や立体部品の検査に強い！ *gLupe* 新機能のご紹介
<https://youtu.be/tA3D4pgHUkM>

また、学習は不良画像 1 枚から行うことができます。導入前の簡易的な評価は無償で承っておりますので、お気軽にお申し付けください。

当社は、製造業のお客様の業務効率化・自動化に貢献すべく、今後も新たな技術開発・製品開発に尽力して参ります。

◆ 関連リンク

- 製造業向け外観検査ソフトウェア *gLupe*® 製品ページ

<https://glupe.jp>

■ 会社概要

会社名 : 株式会社システム計画研究所

代表取締役 : 門脇 均

本社所在地 : 東京都渋谷区桜丘町 18-6 日本会館

事業内容 : 医療情報、制御・宇宙、通信・ネットワーク、画像処理、AI の諸分野を中心としたソフトウェア開発、システム開発、システムインテグレーション、コンサルテーション、技術開発および製品開発

URL : <https://www.isp.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社システム計画研究所

担当 : 井上 忠治 (glupe@isp.co.jp)

TEL : 03-5489-0232

FAX : 03-5489-0225

※記載されている会社名、製品名および名称は各社の登録商標または商標です。